

町民の声 子育ての環境について

子どもの遊び・交流の場「屋内施設」を



ふるかわ もも え 古川 桃衣 さん

私は鏡石町に移住して4年目になりますが、自然が豊かで、空気が美味しく、とても住み心地の良い町だと感じています。この度、議会へ発言する機会を得ましたので、ご提言させていただきたいと思っております。

現在私は、2歳の息子がいます。暖かい時期は空気も澄んでいて、のどかで、公園で遊んだり散歩したりするのに最適な環境だと思っておりますが、真夏や極寒の時期は、外で遊ぶことは難しくなります。家の中ではちよっとした遊具やおもちゃでしか遊べないので、身体を動かすには少し物足りなさを感じてしまいます。また、一人で遊ぶと自由には遊べますが、すぐに飽きてしまったり、協調性を身につけることが出来ないと思っております。

そこで、子ども達がより遊びやすい環境づくりの一つとして屋内施設の設置をお願いいたします。その他にも子ども達の触れ合いの中で、親同士が子育てについての意見交換や交流の場になり、町内外の別の地域の方と関係を深めることも出来ると思っております。可能であれば、週に1回、月に1回でもいいので、保育士さんに年齢別の子育て講座、もしくは相



遊びの中からルールも学ぶ

談会等の機会を設けていただき、悩みや不安の解消が出来る場があれば幸いです。最後に、今回このような意見を議会に提案することになりましたが、私自身議会について詳しく知らないのが現状です。なので、どのようなものかを知る意味でも、どのようにして話し合いされるのか傍聴し、議会を身近に感じられれば良いと思います。そして、より鏡石町を知ることが出来れば良いと思います。子ども達の成長だけでなく、親育ちも出来る環境づくりの一つとして、屋内施設の設置をどうか、ご検討よろしくお願いいたします。

国技とされている大相撲。日本人力士として19年ぶりに第72代の横綱『稀勢の里』が誕生して、平成29年の幕明けとなりました。早熟で晩成、不器用だけどやり続ける、まさに「成せば成る」の精神ではないでしょうか。

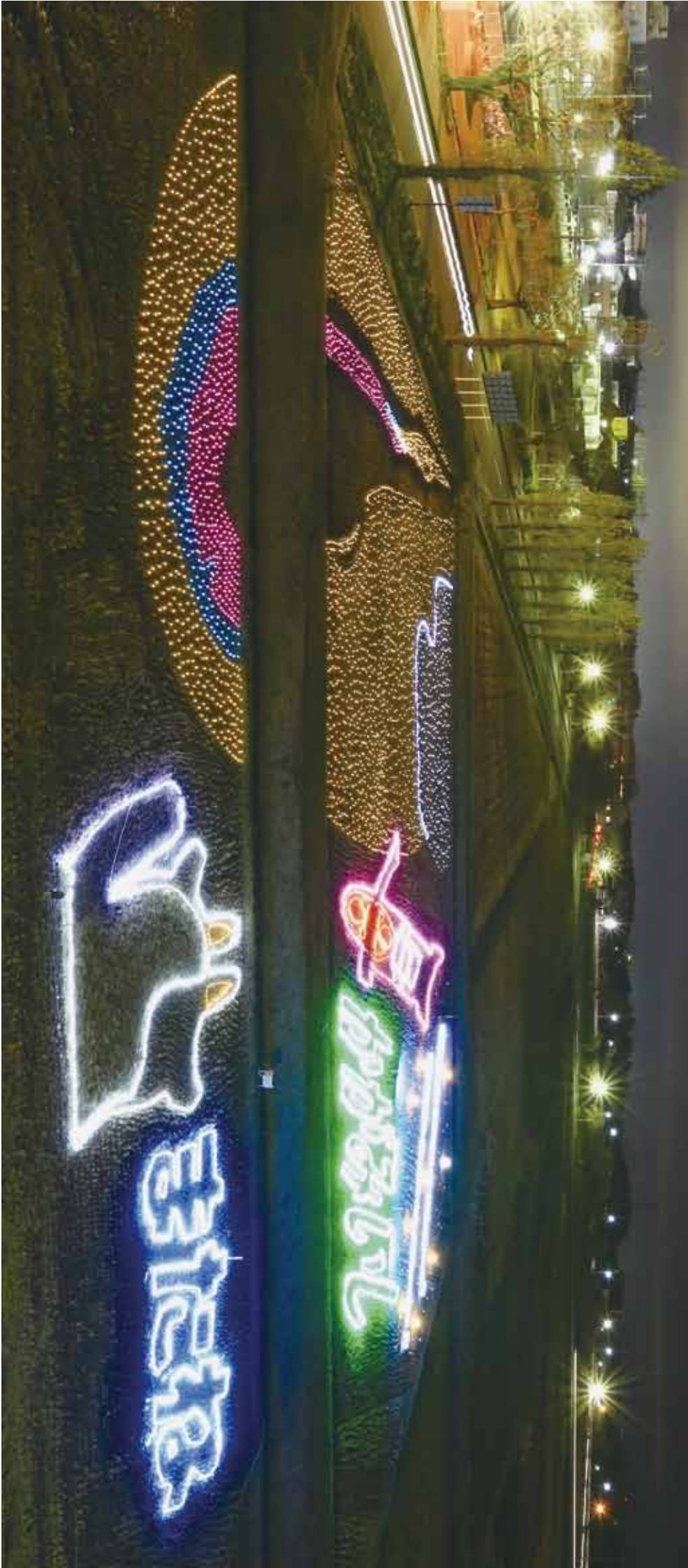
議会は新年度に向け、皆様から寄せられた御意見を町政に反映させ、予算がどのように使われているのか、しっかりと監視・審議をし、公正な立場に立ち、明瞭簡潔に議会だよりに掲載されるように、さらなる努力をして参りたいと思っております。町民の皆様ぜひ、議会傍聴に足を運んでいただきたいと思っております。

発行責任者 議長 渡辺 定己

広報編集委員会
委員長 小林 政次
副委員長 木原 秀男
委員 橋本 喜一
委員 古川 文雄
委員 菊地 洋
委員 長田 守弘



親子交流の場としても屋内施設を



ペットホテルを利用したエコ型イルミネーション

夜空に輝く

「キラキラアート」

12月2日から1月31日までの2か月間、田んぼアートの冬バージョンの「キラキラアート」が実施されました。町内外多くの方が来場し、光の芸術を満喫しました。



「田んぼアート」にアーサー号でもてなし

かがみい
議会だより

No.163
平成29年2月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒969-0001 鏡石町若柳5-2-1
電話0248(62)2110
印刷 (株)永山印刷